

第1回策定委員会(6/2)での主な意見

- ・ワーキンググループで若者の意見を取り入れて政策等が進むことは非常に望ましい。
- ・宇治市民が宇治市を誇れるようなシビックプライドを高めていくことが、一番重要。
- ・観光を受け入れる側のホスピタリティが必要である。観光事業者だけでなく市民も含めた人材育成についても考えてほしい。
- ・旅行者が自由に行動し、旅行者同士で盛り上がるような場所へのニーズが高まっている。
- ・観光客にお金を落としてもらうだけでなく、自分たちの住むまちの資源や観光とは一体何なのかということを議論してほしい。
- ・海外の地域と宇治市が繋がることで双方のブランドイメージを高めるような取組も考えられる。
- ・フィルムコミッションで様々なロケ誘致に取り組み、観光客が訪れるような仕組みを作ってはどうか。
- ・アーティスト・イン・レジデンスは観光の大きな力になる。空き家を活用して取り組んではどうか。
- ・文化庁が京都に移転してくるのでいい機会になる。
- ・11年という長期計画となるので、町並みや自然景観といったまちづくりの分野とも連携して行ってほしい。
- ・周辺の市と併せて宇治をどう活用していくかは大きな課題。
- ・環境に配慮した観光ということで、渋滞を今後の観光客の受け入れに併せてどのように解消していくのか、委員会で事例や問題点を出し合いながら、各機関に協力を依頼することになると思う。
- ・新たな視点として MaaS やグリーンスローモビリティ、バーチャルと現実の観光とのリンクなどを加えてほしい。